

1. 国指定史跡名越切通に関する記述

国指定史跡名越切通に関する記述に関しては、『整備基本計画報告書』（平成 17 年 3 月発行）「第 1 章 名越切通の整備にあたって」の「1. 史跡名越切通の足跡」（三浦勝男先生執筆）の中では網羅されている。主な出典は以下の通りである。

1-1. 名越切通（名越坂）に関する記述

- 『玉舟和尚鎌倉記』（1644～1647 年）
「名越坂 三浦口」の記述
- 『吾妻鏡』建永元年(1204 年)二月四日
“將軍実朝が雪見のため「名越山辺」に來た”という記述
- 『吾妻鏡』承元元年(1219 年)九月二十二日条
“鎌倉中が大火に見舞われた時、「名越山」ふもとまで類焼した”の記述
- 『吾妻鏡』天福元年(1233 年)八月十八日条
「名越坂」の初見
“この日の早朝、北条泰時は江ノ島明神に参詣する途中、前浜に殺害された屍体があるので、そのまま御所へ引き返した。そして評定衆を召して直ちに犯人を捕らえるよう沙汰し、これによって武蔵大路・西浜・「名越坂」・大倉・横大路以下の要路をふさぎ搜索した。そのうち、「名越辺」で一人の男が血の付いた直垂の袖を洗っている。岩手左衛門尉がこれを生虜り、御所で推問すると、殺害を白状した。この男は博奕人であった”という話を伝えている。
- 『吾妻鏡』嘉禎元年(1235 年)六月二十八日条
「名越山上」の記述
“將軍藤原頼経が創建した五大堂明王院において、新たに鑄造されたつり鐘の供養が行われた。このとき、供養と並行して魔障を避けるための南方高山祭も「名越山上」で行われた。弁法印良算がこれを奉仕し、毛利左近藏人親光が御使であった”という。
- 『源平盛衰記』卷第二十一、「小坪合戦の事」
「名越」の記述
“…（上略）、小坪に軍始めり、急ぎ馳せよと、和平以前に云ひ遣したりければ、小次郎はいささか小用ありて鎌倉に立寄りたるが、是を開き、驚き騒ぎて馬に打乗り、犬懸坂を馳越して「名越」にて浦を見れば、四五百騎が程打囲みて見えり、（下略）…”とあるのも、名越坂付近のことであろう。
- 『北国紀行』 文明 19 年(1487 年)二月
名越坂を通過したときの記述
- 『金兼稿』（万治 2 年(1659 年)）
江戸前期の名越坂の情景の記述
- 『新編鎌倉志』（貞享 2 年(1685 年)）
“「名越切通」は三浦へ行道也、此峠、鎌倉と三浦との境也、其險峻にして道狭、左右より覆たる岸二所あり、里谷大空^{おほほらうら}・小空^{しょうほう}・と云ふ、峠より東を久野谷村と云、三浦の内也、西は名越、鎌倉の内なり、（下略）…”の記述
- 『樂只堂年録』
元禄 16 年(1703 年)十一月二十二日の大地震で、「名越坂」は百間（約 180m）にわたり崩壊した
- 『久野谷村明細帳』（文政 8 年(1825 年)三月）
“当村持所、道幅式間（約 3.6m）、長式丁（約 200m）鎌倉ヨリ浦賀・三浦街道二御座候”の記述、
『逗子市史資料編 I』に掲載
- 『鎌倉探勝考』（文政 12 年(1829 年)）
「ナゴヤ」の記述
- 『新編相模国風土記稿』（天保 12 年(1841 年)）
「奈古衣左加」の記述
- 『松岡文書』

1-2. まんだら堂に関する記述

- 『相州三浦郡小坪郷御縄打水帳』（文禄 3 年(1594 年)）
「まんだら堂」の初見、『逗子市史資料編 I』に掲載
- 『金兼稿』（万治 2 年(1659 年)）
名越切通についての末尾に、「堂」の記述（まんだら堂の存在を示唆）
- 『鎌倉物語』（万治 2 年(1659 年)開版、中川喜雲）
「名越谷三昧場」の記述（まんだら堂をさす表記）

1-3. 法性寺に関する記述

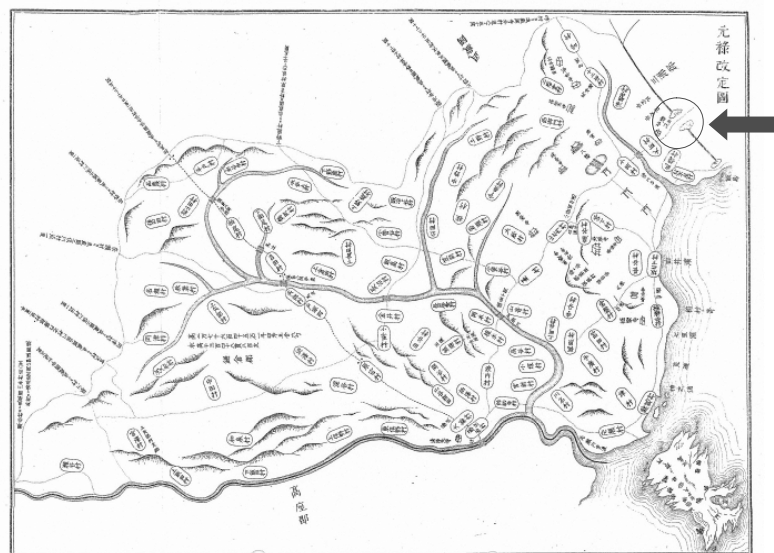
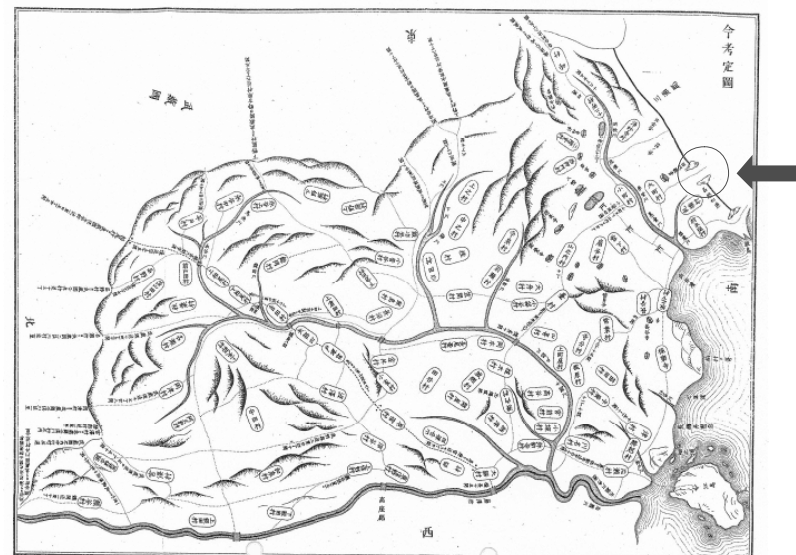
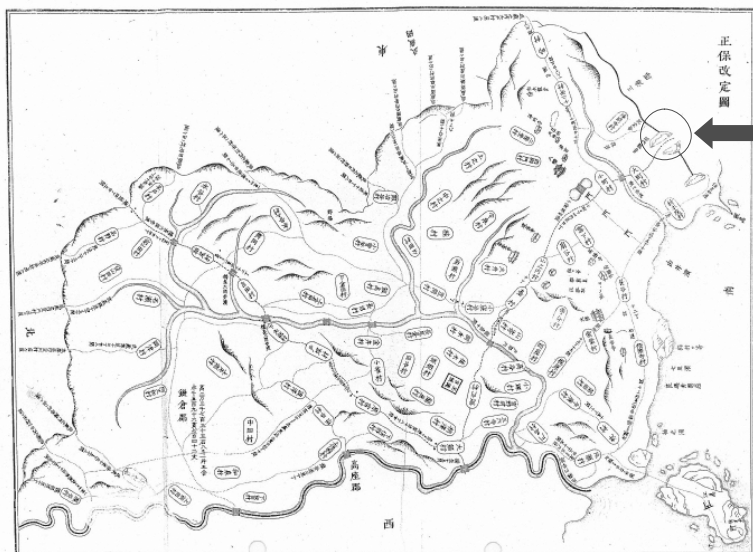
- 『新編相模国風土記稿』
文応元年（1260 年）八月二十七日、白猿に助けられた日蓮が弟子に一寺の建立を命じたとの言い伝え
- 『新編鎌倉志』巻七
「御猿昌山」の記述、絵図（下図）



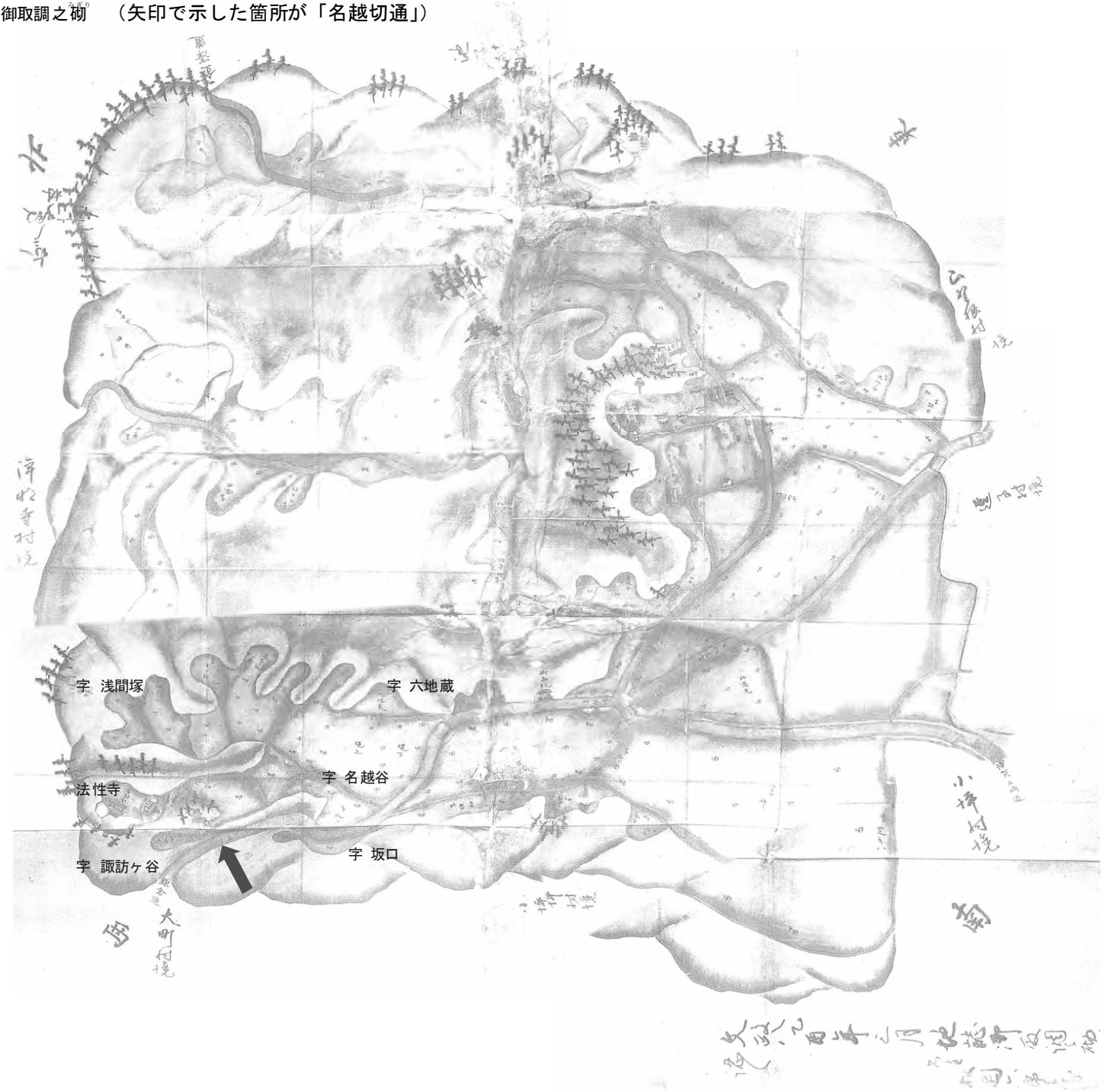
- 『日蓮聖人註画讃』巻一「造安国論第五」
「名越山中」の記述

2. 名越切通に関する古絵図

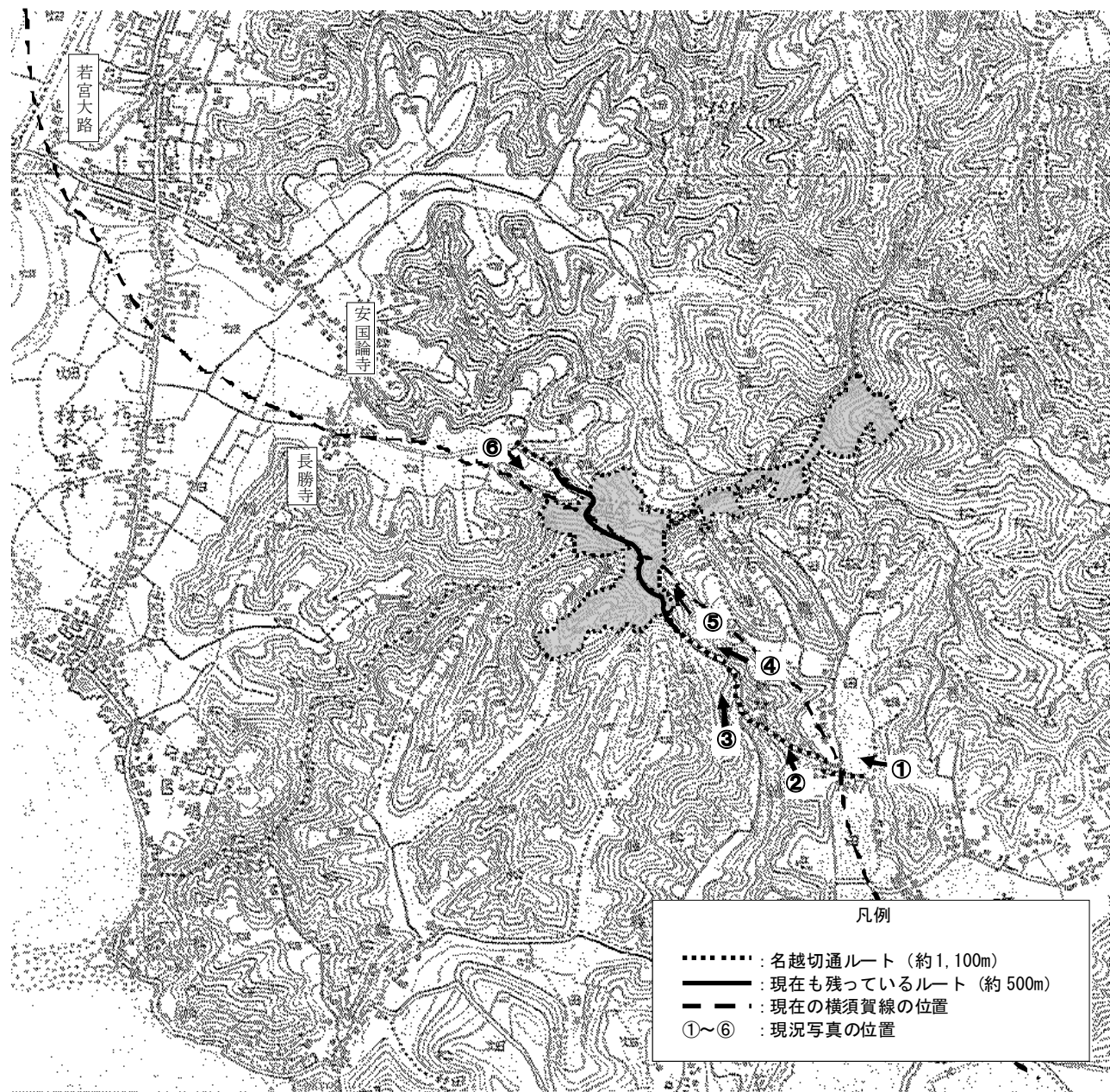
○『新編相模国風土記稿』巻六十九 (矢印で示した箇所が「名越切通」)
天保 12 年 (1842)



○文政八乙酉年三月地誌御取調之柵 (矢印で示した箇所が「名越切通」)
(1825 年)



○名越切通ルートと残存状況 (国土地理院『陸軍二万分一迅速測図原図』明治15年(1882)「神奈川県相模国鎌倉郡雪下村三浦郡小坪村」に加筆)



現況写真 (平成19年2月現在)



写真①



写真③



写真⑤



写真② 切通の名残り



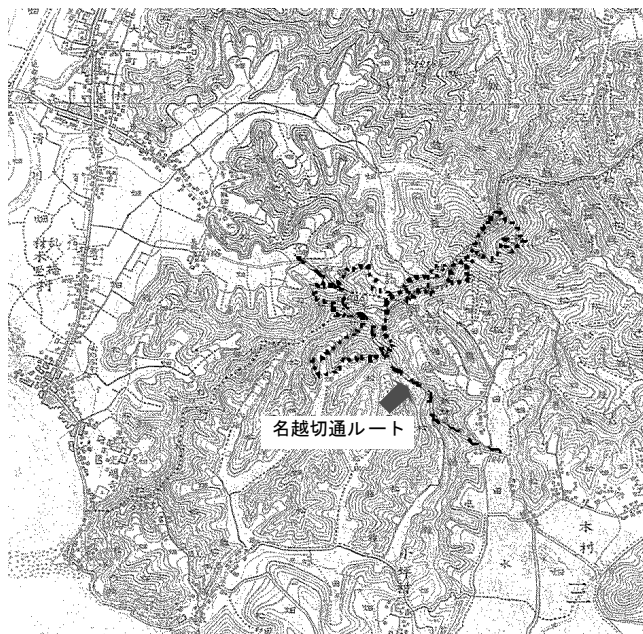
写真④



写真⑥

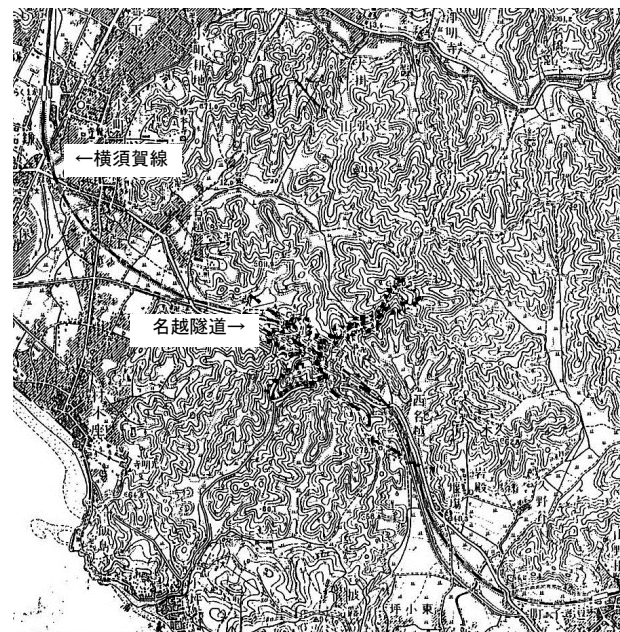
※ 陸軍二万分一迅速測図原図を1/10,000に拡大

○指定地周辺の土地利用の変遷



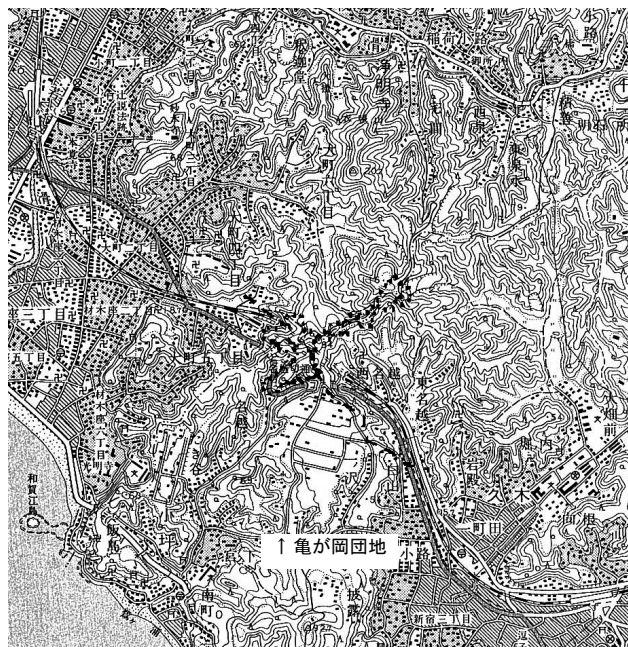
1. 明治15年(1882)
(陸軍2万分1迅速測図原図)

・この頃はまだ、名越切通のルートが確認できる



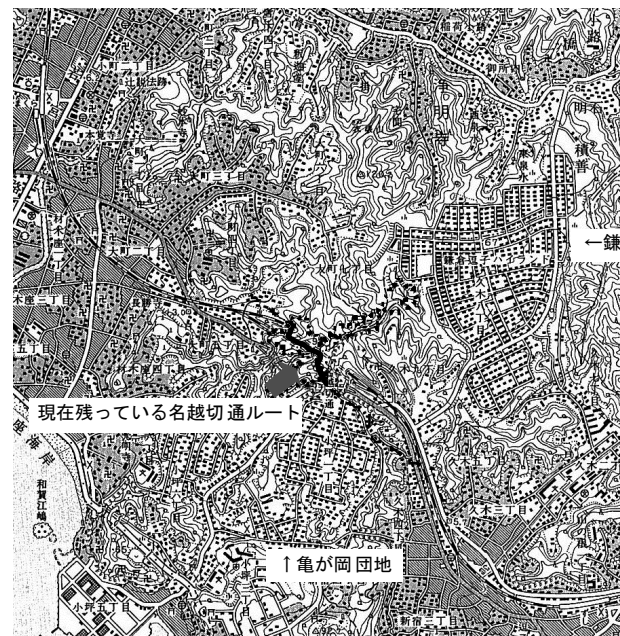
2. 大正13年(1924)
(国土地理院2万5千分1地形図)

・明治16年 名越隧道が開通
・明治22年 横須賀線が開通



3. 昭和41年(1966)
(国土地理院2万5千分1地形図)

・昭和38～39年 亀が岡団地開発



4. 昭和58年(1983)
(国土地理院2万5千分1地形図)

・昭和42～45年 鎌倉逗子ハイランド開発

4. 指定地における遺構分布調査資料

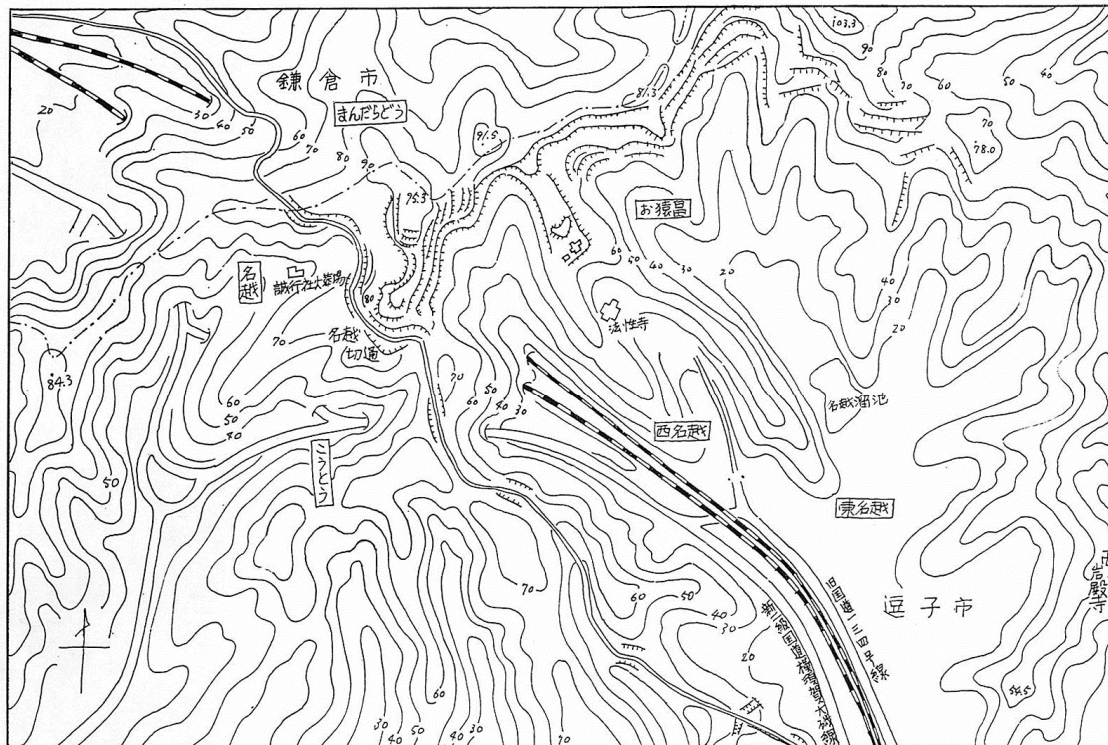
○昭和 39 年のまんだら堂やぐら群の写真（三浦勝男先生撮影）



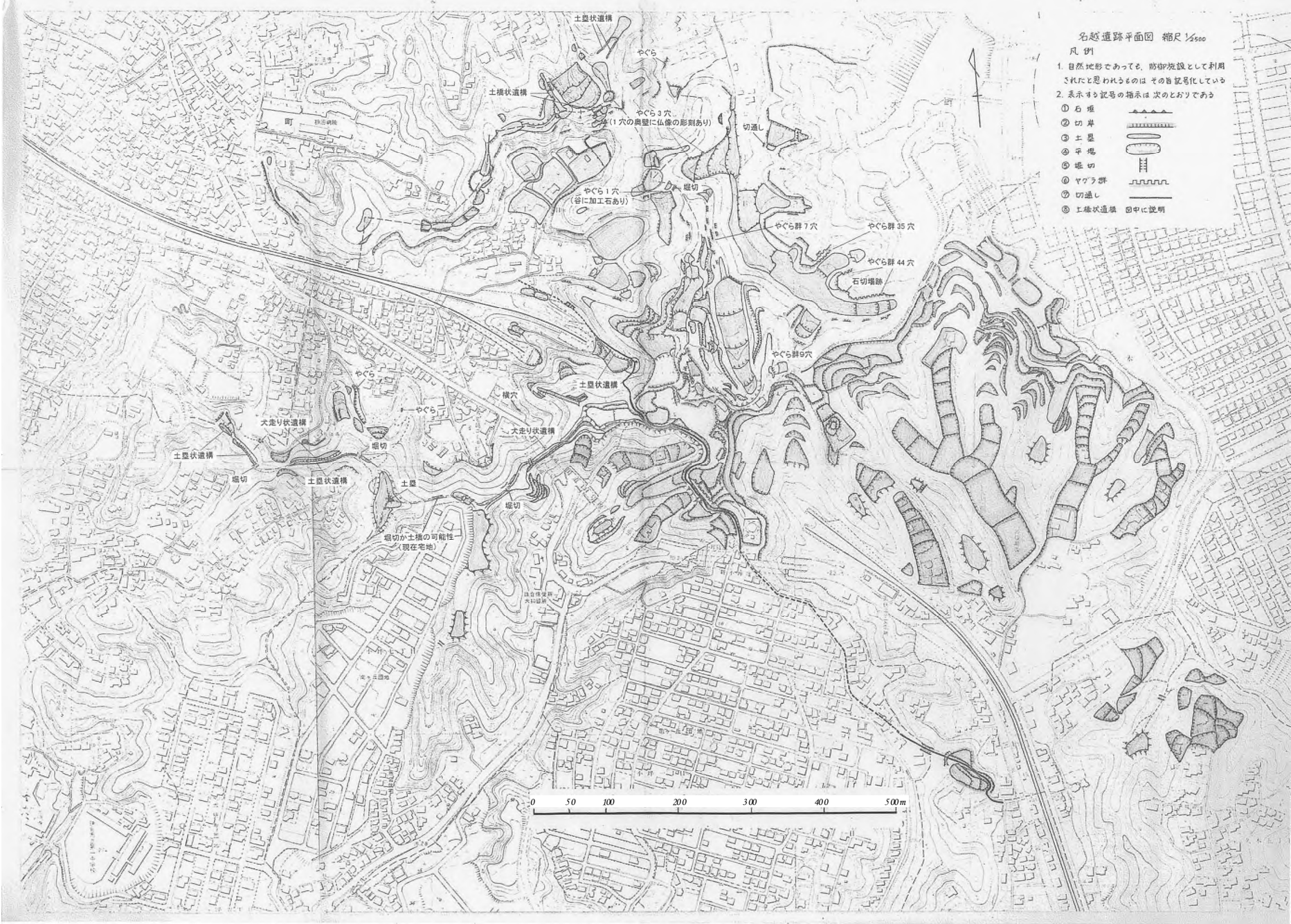
○『名越切通と山城の構造』 出典：『図説鎌倉歴史散歩』（1993）



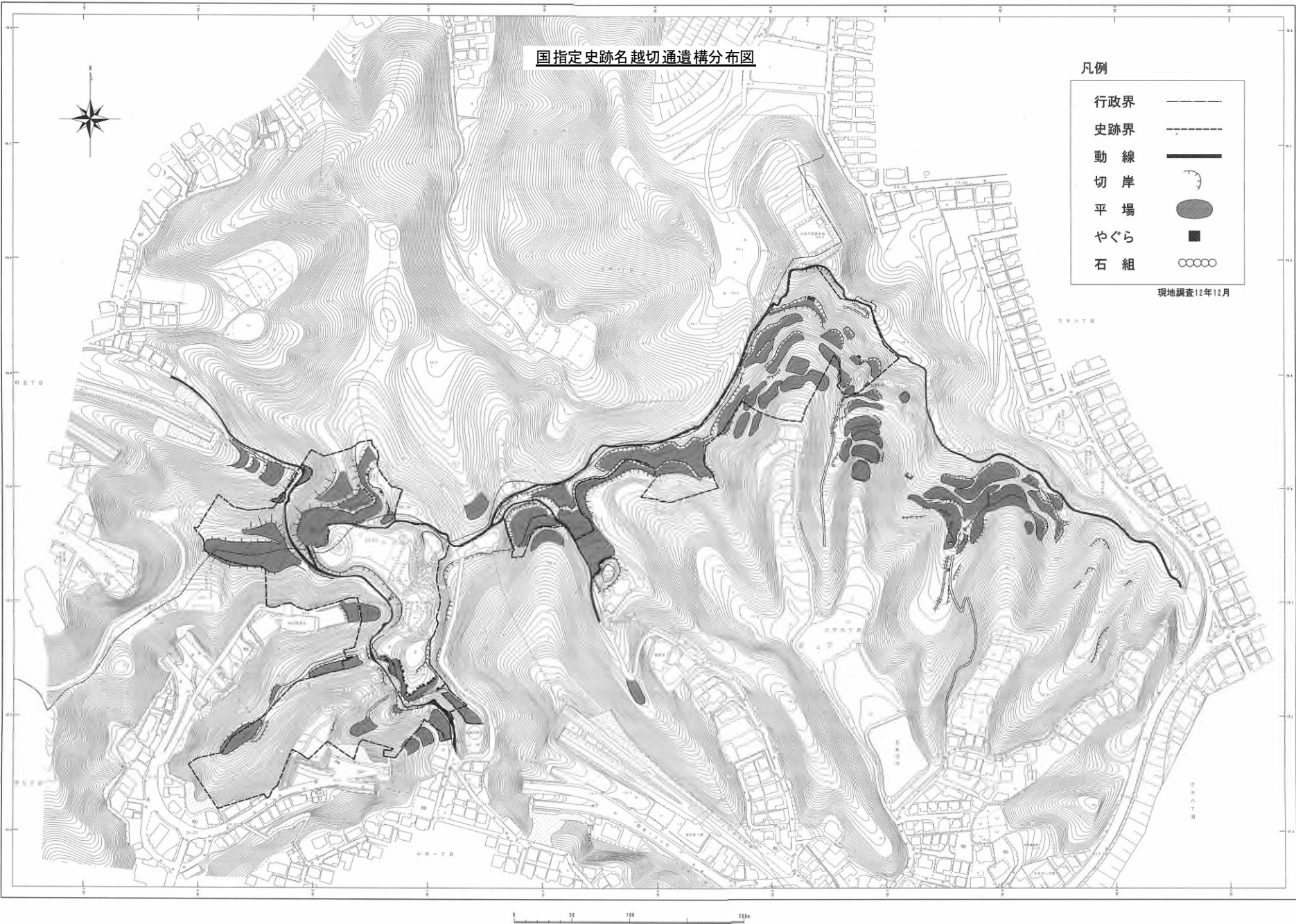
○『名越切通路査図』 出典：『逗子市お猿島大切岸について』赤星直忠（1972）神奈川県文化財調査報告書 34



お猿島大切岸と名越切通路



○『国指定史跡名越切通遺構分布図』逗子市（2000） 現地調査平成 12 年 12 月、1/2500 を縮小



国指定史跡名越切通 整備実施計画

発行日	2007 年（平成 19 年）3 月 31 日
発 行	逗子市教育委員会 〒249-8686 神奈川県逗子市逗子 5 丁目 2 番 16 号 TEL.046-873-1111 FAX.046-872-3115 E-mail : gakusyuu@city.zushi.kanagawa.jp
印 刷	横浜ハイテクプリンティング（株）
